Child AFRICA SCHOOL CARAVANのご案内

mudef

一般財団法人mudefでは、途上国の現状を広く伝えるため、全国でイベントを実施してくださる学生の皆さんを募集しています。

「途上国の子どもたちや貧困の問題について、みんなに知ってもらいたい」
「学園祭でイベントをやりたい！」
「チャリティに関心があるけど、何をしたらよいか、わからない・・・」

そんな思いを持っている学生のみなさん、ぜひご参加ください！

みなさんの「知ってもらいたい」という思いを、日本中で「つないで」いきたいと思います。

参考：京都　龍谷大学にてChild AFRICA写真展実施の様子（2010年）

参加方法:

クラス、クラブ、サークル、ゼミ、有志のみなさんで「パネル展示企画」を企画

- スタッフによる出前授業の同時開催も大歓迎！
  ※出前講座を希望する場合、交通費・宿泊費・謝金は主催者の負担となります。
- 開催と同時に会場で募金活動の実施も可能です。

その他広報企画やキャンペーンなど、みなさんの行動力と自由なアイデアを活かしたイベントも可能！

実施したイベントのレポートを、mudefウェブサイト上のイベントページで紹介。
http://www.mudef.net/event/
みなさんのご参加、お待ちしています！

※イベント告知に際しては、事前にロゴの使用や広報内容・広報方法について事務局に確認を取ってください。
※許可なくChild AFRICAのロゴやmudefの紹介をすることはできません。予めご了承ください。

参加を希望される場合：
mudef事務局まで、以下の内容をお送りください。追ってご連絡させて頂きます。

「件名」: Child AFRICA SCHOOL CARAVAN
メール本文:
連絡者氏名
携帯電話など日中に連絡可能な連絡先
所属先
メールアドレス
希望する日程
予定している会場
その他特記事項・質問など
※イベント内容により、パネルの貸し出しをお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。

その他ご不明な点は、お気軽にお問合せください。
一般財団法人mudef事務局
TEL/FAX: 03-5414-7778
Email: info@mudef.net

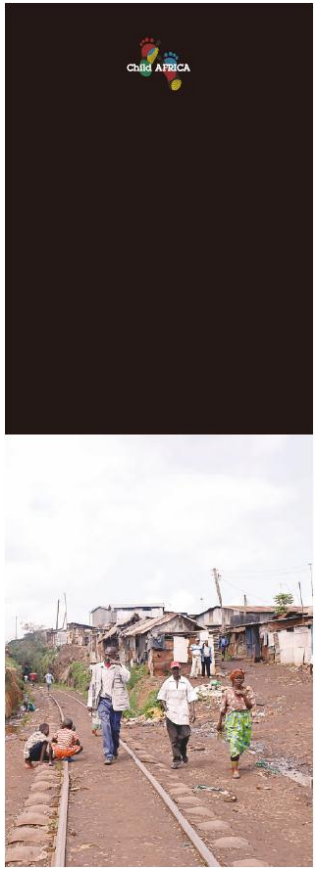
Child AFRICAは2008年から始まった、アーティストのMISIAが行う、アフリカの子どもの支援を行うプロジェクト。
2010年からは一般財団法人mudef（みゅーでふ）によって運営されています。
http://mudef.net/contents/childafrica.html

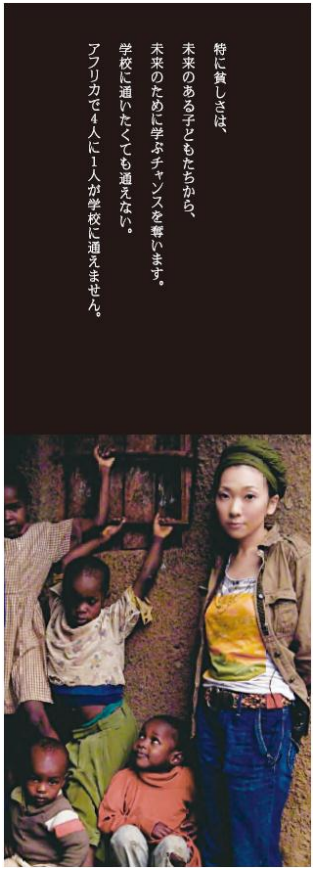
Child AFRICA

貸出パネル概要

- 大きさ:H170cm×W90cm　合計25点
- 和紙・掛け軸状。
- 掲出の方法・掲出枚数・順番などは主催者が判断することができます。
  ※数枚だけの展示や、ナナメに展示したり、さかさまにしてももちろんOK。レイアウトはみなさん次第です！
- 展示物の取り扱いには十分ご注意ください。(破損の場合、弁償して頂くことがあります)
- 会場までの送料は主催者負担となります。
- イベント終了後、2日以内にパネルの返送をお願いします。

貸出パネル一覧　25点





貸出パネル一覧

学ぶことは、
生きるために必要な知識を身につけること。
自分の未来を考え、
選択していくために必要な、
大切な大切な「力」であること。

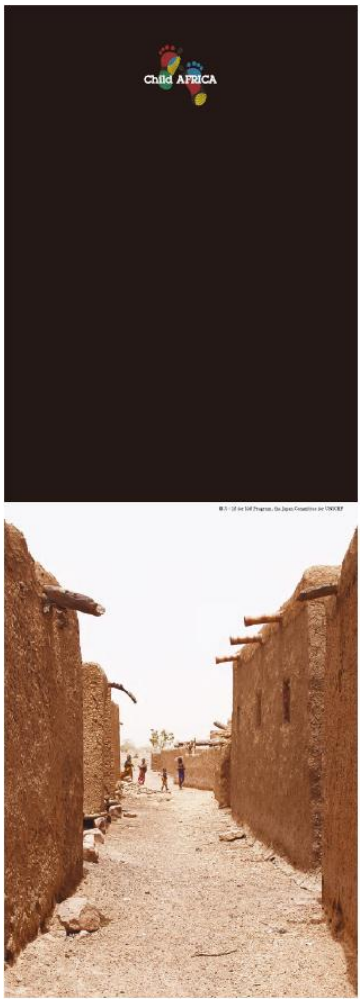
Child AFRICA

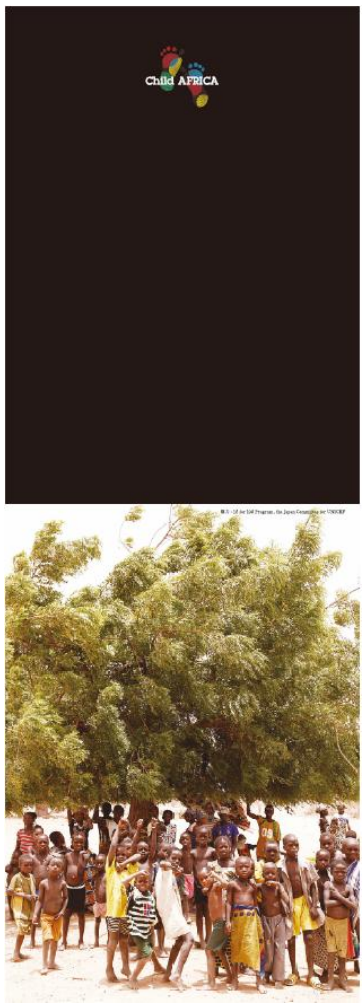
2005年、アフリカの人々は
2人に1人の割合で1日1.25ドル以下の生活を
余儀なくされています。
日本円に換算すると、わずか100円。
これが、彼らの生活を支えています。

Child AFRICA

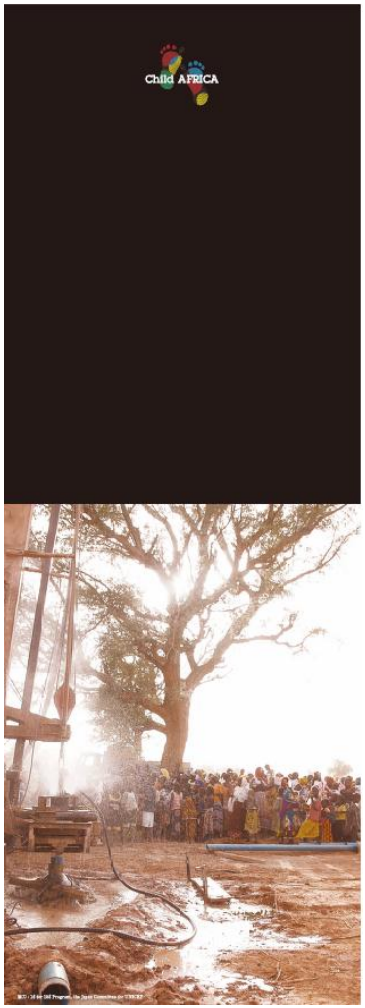
Child AFRICA

貸出パネル一覧


Child AFRICA

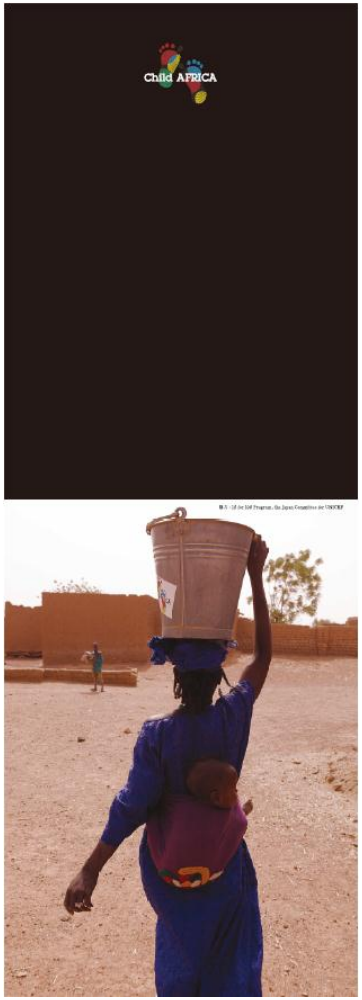

Child AFRICA

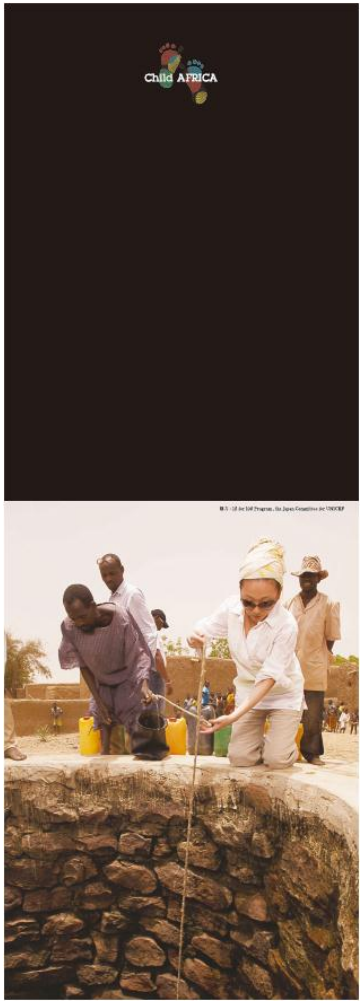
Child AFRICA

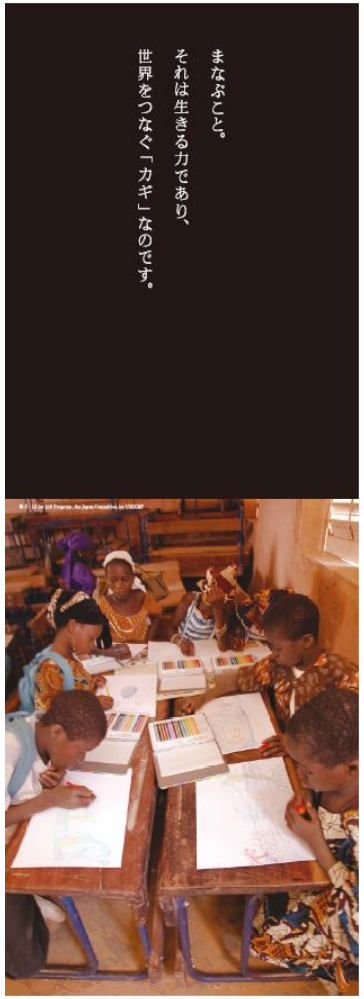

Child AFRICA

世界全体で、
貧困に苦しむ人は12億人。
そして、3秒に1人、
子どもが、貧しさが原因で命を落としているのです。

貸出パネル一覧


Child AFRICA

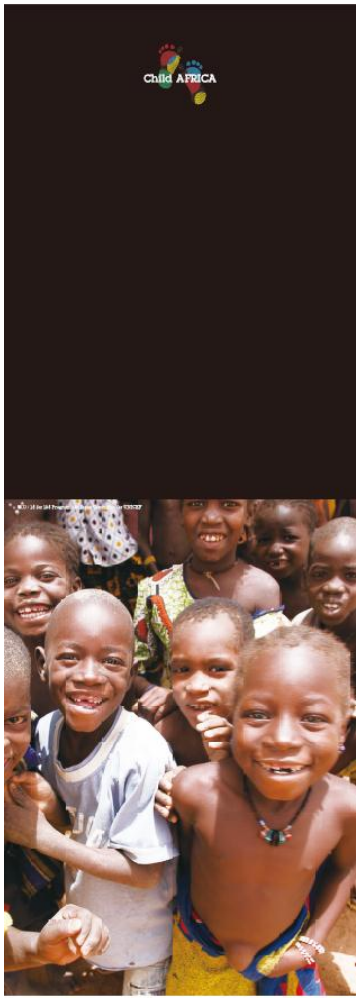

Child AFRICA


まなぶこと。
それは生きる力であり、
世界をつなぐ「カギ」なのです。

日本からできること。
この現状をしってもらうこと。
知ってもらい、現実を見たとき、世界は違って見えます。
そして、想いを抱けば、
日本の私たちとアフリカの子どもたちは、
遠くても手をつなぎ、支え合い、
よりよい世界作りを目指すことができます。

私たちは、子どもたちが学校に通える環境を作るために、
まず現状を学ぶことの大切さを常に訴えてきました。

貸出パネル一覧


Child AFRICA

Child AFRICA

「貧困とは、ひもじいこと、孤独なこと、
夜になっても帰るところがないこと、
はく奪状態にさらされていること、差別されること、
虐待されること、読み書きができないこと」
（『人間開発報告書1997年版：貧困と人間開発』）

生活に困るだけではなく、
十分な栄養を取れなかったり不衛生な環境で暮らすために
健康を害して長生きできなかったり、
教育を受けられず知識を得て活用する術を知らなかったり、
社会の一員として認められず、
人生を左右する重要な意思決定に参加できないことも、
人々から尊厳や価値のある人生をおくる機会を奪っています。

Child AFRICA